

西九州新幹線「かもめ」の走行試験について（令和4年6月1日）

令和4年5月10日から始まった、西九州新幹線「かもめ」の走行試験も順調に進み、もうすぐ営業最高速度の時速260kmでの走行が予定されています。

私たちが普段乗っている車は、高速道路を走る時で時速100kmほどですが、新幹線の時速260kmともなると、その速さがどのくらい速いのか、なかなか想像がしにくいと思います。

この速さを例えると、長崎駅を起点とした場合（直線距離にはなりません）、1時間でなんと山口県と広島県の県境付近まで行くことができます。

さらに、今回開業する長崎・武雄温泉間（約66km）をノンストップで時速260km（初速から）で走ると15分ほどしかかからない計算となります。

身近な乗り物と比較すると、現在、長崎・博多間を走っている特急「かもめ」の営業最高速度が時速130kmなので、新幹線「かもめ」はその2倍の速さがあり、移動時間は半分しかかからないことになります。

少しは新幹線の速さを、イメージいただけただでしょうか？

下の写真は、6月1日に撮影した長崎駅付近での走行試験の様子です。

右下の写真を良く見て下さい。

実はこの写真、中々レアな写真で、新幹線「かもめ」と特急「かもめ」が同時に走っている瞬間をとらえたものです。

この共演は、開業すると長崎では二度と見る事が出来なくなるので、皆さんも狙ってみては？



長崎駅付近で走行試験を行う様子